

正解を導く「イシューの特定」

開催日時 2027. 1.20 水 15:00～16:00

受付終了 2027.1.15(金) 開催形式 Zoomミーティング（双方向スタイル）※

対象者 全社共通 定員 30名



※双方向スタイル：講師・受講者が双方向でコミュニケーションをとって学習する形式

不適切なイシュー設定による時間とコストの浪費——いわゆる「犬の道」に陥ることを防ぎ、成果に直結する「最適なイシュー」を抽出するためのプロセスを体系的に解説します。「何が課題か」ではなく「何が今、最もインパクトを与える問いか」を見極める力を磨きます。

講師 松本 敏明（まつもと としあき）

「質の高い学びは楽しい時間とともにある」を信条に、100以上の企業や官公庁にて1万3000人以上を指導。登壇実績は9000時間を超え、オンライン研修の経験も豊富。論理的でわかりやすく親しみやすい講義は満足度が高く、リピート率は90%を超える。プロコーチとしてサッカー日本代表選手等をはじめ、多くのアスリートやビジネスパーソンのサポート経験がある。40人規模の組織マネジメント経験もあり、実体験に立脚したユーモア溢れる学びの提供が持ち味。



項目	内容	目標到達点
はじめに	● セミナーの目的共有 ● 「イシューとは何か」を考えるワーク ● イシューの定義と課題との違い解説	イシュー（解くべき問い）の重要性を理解し、成果を上げるための思考法としての当事者意識を持つ。
イシュー特定の重要性	● イシュー特定が必要な理由 ● 成果に与える影響の解説 ● 家電新製品を題材としたイシュー出しワーク	無数の論点から「何を議論・検証すべきか」を絞り込むことのインパクトを実感・理解する。
良いイシューの条件	● 良いイシューの2つの条件（実行可能性・影響度） ● 課題設定につながらないイシューの排除	コントロールできる範囲で効果の大きいイシューを見極める判断基準を習得する。
適切なイシュー特定の工夫	● イシュー特定の2段階プロセス ● 一次情報／データ視覚化／仮説設定／隠れた前提のあぶり出し	感覚や思い込みに頼らず、仮説を持って本質的な問いに辿り着くための実践的テクニックを理解する。
まとめ	● 情報過多に対する注意点（スピード感） ● まとめと今後のアクション	学んだ型を整理し、明日からの業務で「まず解くべき問いを定義する」行動習慣を身につける。

サイバックスUNIV. お問い合わせは、リスクモンster株式会社 カスタマーセンターへ ① 受付時間：平日10:00～16:00

フリーコール TEL 0120-035-205

携帯電話 TEL 03-5202-7121